

2021年-2022年

オンラインコースシリーズ

英語指導法・スキルアップ



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University



文部科学省

無料

後援：アメリカ大使館

提供：国際教養大学専門職大学院英語教育実践領域

内容言語統合型学習 -CLIL- 概論

Introduction to Content and Language Integrated Learning - CLIL

●インストラクター：

Mark deBoer (国際教養大学)

●実施期間：2021年10月4日(月)～10月31日(日)

●応募フォーム

応募締切り：10月1日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/b5907e59154019>



日本ではまだ聞き慣れない言葉ですが、内容言語統合型学習「CLIL」は言語だけでなく、各教科の学習や理解を含めた英語指導法として有効だということが国際的に証明されています。

このコースでは、CLILの基本的な考えを知り、どのように実践し、授業に活かしていくかを学ぶことで、実際の授業現場で有効な指導方法として活かせるように計画されています。コースの後半ではそれぞれの授業現場でCLILをどのように取り入れるのか、授業準備から評価までを具体的に検討していきます。

このコースを終了する時には、CLILが何であるか、そしてCLILが日本の教育現場において、いかに有効な言語学習方法であるかを理解することができます。

批判的思考の指導法

Teaching Critical Thinking

●インストラクター：

Dr. Chris Carl Hale (国際教養大学)

●実施期間：2021年11月29日(月)～12月26日(日)

●応募フォーム

応募締切り：11月26日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/40f5ac27154023>



批判的思考を早期から育むことはとても重要であり、現在多くの英語教師がその指導法の習得を目指しています。

文部科学省の新しい学習指導要領でも、生徒の批判的思考を育てることが重要とされています。

このコースでは、批判的思考に関する基礎的な内容や理論を紹介し、実際の教室でどのように活用していくかを、具体例を示しながら解説します。

生徒のためだけでなく、教員自身の批判的思考を、読むことや書くこと、オンラインディスカッションを行うことを通じて向上させることができます。

言語構築のためのストーリー・テリング

Storytelling for Language Building

●インストラクター：

Joachim Castellano (愛知県立大学)

●実施期間：2021年11月1日(月)～11月28日(日)

●応募フォーム

応募締切り：10月29日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/d9720680154022>



ストーリー・テリングは歴史ある教育ツールの一つであり、言語教育において非常に有効です。

この4週間のコースは、発音、発話の流暢さや会話能力といった言語能力の向上のために、ストーリー・テリングの使い方を学ぶものです。

ストーリー・テリングの内容は、個人の体験やグループでの会話など多岐にわたります。多くの場合、生徒自身が語ることができるものを題材として学習を進めていきます。

このコースは、講師が執筆した博士論文である、「第二言語学習環境におけるストーリー・テリング」に基づいて教授を行います。

英語教師のためのテスト作成と評価

Test-making and Assessment for English Teachers

●インストラクター：

Dr. James Sick (テンブル大学ジャパンキャンパス大学院教育学研究科)

●実施期間：2021年12月20日(月)～2022年1月23日(日)

※12月27日～1月3日を除く

●応募フォーム

応募締切り：12月17日(金)

<https://business.form-mailer.jp/fms/d62081a5136027>



言語テストの作成と評価はすべての教師に必要な作業です。このコースでは、最初に評価理論の基本概念を学ぶことによって、テスト作成のスキルを高めます。そして、リーディングとリスニングのための選択式問題と短文で答える試験問題や、スピーキングとライティングのためのルーブリックを用いるテスト全体の設計方法を学び、最終的には、創造性や受容力を統合すると言われているディクテーションと読書能力を診断するためのテスト(cloze test)の2つの方法を考察します。

資料と講義に加え、参加者の皆さんには、他の参加者の方に向けて発表するテスト問題を作成していただきます。

- 国際教養大学よりすべてオンラインで提供されます。
- 対象は日本人の中学校・高等学校の英語教師です。
- 期間は4週間、約20時間の活動時間が必要となります。
- 講座は全員が同時に受講するものではないため、受講者は自分のペースとスケジュールに合わせて課題に取り組むことができます。

- スケジュールや興味によって、1コースから登録することが可能です。
- コースを修了した方には、国際教養大学から修了証が授与されます。
- すべてのコースはアメリカ大使館から助成を受けて、無料で提供されています。



テクノロジーを用いた授業・学びを促すために役立つアプリ

Teaching with Technology

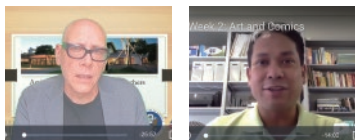
- インストラクター：
Janet Beth Randall (マカオ大学)
- 実施期間：2022年1月31日(月)～2月27日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：1月28日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/9772e748154025>



この1年は、テクノロジーの重要性がこれまで以上に高まり、教師と生徒にとっても課題の多い年でした。このコースは、テクノロジーを用いて生徒の言語能力を向上させることを目的とした内容になっています。

このコースでは、皆さんがすでに知っているコミュニケーション・ランゲージ・ティーチング(CLT)の授業デザイン理論を新しいテクノロジーツールに結びつけ、日本中の英語教師とオンラインで共同作業を行い、テクノロジーを活用した有意義で魅力的なアクティビティを開発します。

ぜひ、お互いに助け合える環境でアクティビティを共有し、学びを深めていきましょう。



アメリカの大学と文化

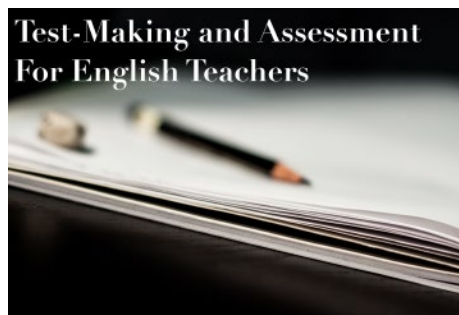
American College & Culture

- インストラクター：
Dr. Chris Carl Hale & Dr. Patrick Dougherty (国際教養大学)
- 実施期間：2022年2月28日(月)～3月27日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：2月25日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/5ec8965c136032>



アメリカ留学に興味を持つ方は、アメリカの大学の学術文化を理解することが必要です。

このコースでは、日本とは大いに異なるアメリカの教育モデルの中で成功するために必要な学術的な重点を紹介し、アメリカの大学での経験を模擬体験していただきます。扱われる題材は批判的思考や推論、議論、討論を含みます。このコースで得た知識や経験は、生徒たち(もしくはご自身)がアメリカのリベラルアーツ型教育の中で成功する手助けになるでしょう。また、先生方が国際教養大学のようなアメリカのリベラルアーツ型教育を追求する日本の大学をより理解するための一助となるでしょう。



教室におけるALTとの効果的な共同

Effectively Utilizing an ALT in the Classroom

- インストラクター：
Jennie Roloff Rothman (神田外語大学English Language Institute) & Adrienne Verla Uchida (日本大学 国際関係学部)
- 実施期間：2022年2月14日(月)～3月13日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：2月11日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/0e263a50154026>



ALTは日本の英語教育現場において欠かさない存在となっていますが、ALTとの授業を効果的に活用できる方法についてのトレーニングは普及していません。チームティーチングは、日本の英語教育の基本的な部分であり、より注目されるべきものです。

このコースでは、教師がALTとのやりとりを振り返ることができるよう、以下の点に焦点を当てています。それは、効果的な言語とコミュニケーション、あまり経験のない教育者に対しての専門的な期待の確立、ALTの自信を高めるために活用できる分野の特定、そして、ALTの母国の文化を適切に紹介する方法です。

このコースでは、英語教師とALTの関係に関する自分の考えを振り返ること、ALTの目的を議論すること、チームティーチングの授業を作成すること、ALTに説明するように授業プランの説明を記録することなどに取り組んでいただきます。

第2言語習得入門

Second Language Acquisition, SLA

- インストラクター：
Dr. Chris Carl Hale (国際教養大学)
- 実施期間：2022年5月9日(月)～6月5日(日)
- 応募フォーム **応募締切り：5月6日(金)**
<https://business.form-mailer.jp/fms/e5531e5e154028>



このコースは、応用言語学分野への導入として設計されています。第一および第二言語がどのように学習されるのか、そして、その理解がどのように指導方法に活用されるのかといった点に重点を置いています。

このコースでは、言語習得理論の発展の歴史と、それらが言語の習得方法に関する現在の教師の考え方にどのようにつながっているかを説明します。事前に収録した講義のビデオ、課題、オンラインのディスカッションを通じて、SLA(第二言語習得)に関する知識を深め、教室で教える際に、より多くの情報に基づいた判断ができるようになります。SLAに関する予備知識がなくても受講できます。

お問い合わせ先 (メールでお問い合わせください)



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

専門職大学院
英語教育実践領域

英語指導法研修プログラム事務担当：小野、ヘイル

E-Mail : ettp@gl.aiu.ac.jp Tel : 018-886-5805 <https://coil.aiu.ac.jp/>

※お電話の場合、留守番電話の時は電話番号、お名前をメッセージに残してください。